



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2004.01.20 No. 27 - 34

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274



ALR 計画とは何でしょう?

IFALPA は Airport Liaison Representative (ALR) という計画に着手しています。ALR は、空港設計と運用の専門家を養成し、空港当局との情報交換をうながす制度です。空港当局との協力関係を築くことにより、空港での安全を推進することが、その目的です。第一回の ALR 養成コースは昨年 10 月に行われ、日乗連 (ALPA Japan) から一名が出席して資格を得ました。以下、ALR の IFALPA ニュースを紹介します。



空港当局にとっての利点は何があるでしょう?

ALR 計画は、安全と効率を推進するために「パイロットにとって使いやすい空港」を目指しています。パイロットの日常運航での経験に基づいて、ALR での訓練と知識があれば、パイロットと空港関係者との信頼関係を築き上げることができるでしょう。



ALR は、空港設計及び運用に関する IFALPA Policy をサポートできる人材を養成します。空港運用計画に問題がないかチェックし、空港当局と協力することによって、実施前にそのような問題を修正することができます。さらに、計画設計の段階で、空港当局にパイロットの視点を提供することができます。過去、香港国際空港などの設計に参加したという実績があり、IFALPA の参加は有効であることが証明されています。

トレーニングでのポイントは?

トレーニングでのポイントは以下のとおりです。

- . Runway incursions
- . Non-Precision Approaches/CFIT
- . Wind Shear and Turbulence
- . Airport Rescue and Fire Fighting Capabilities
- . Visual Aids and Lighting

トレーニング・コース

Aerodrome & Ground Environment (AGE)委員会が、ALRトレーニングを監修します。トレーニングは、以下のような単位から成っています。ICAO付属書とマニュアルへの入門、IFALPA Policyへの入門、空港設計および運用の諸問題。

コースと同じ内容のCDは加盟組合に配布され、単位の内容を復習することができます。これらのコースは世界各地で開催され、IFALPA AGE委員会とそのメンバーによって実施されます。第二回コースは3月のシドニー総会中に、第三回は6月にウィーンで行われる予定です。

トレーニングの後は?

トレーニングの後は、ALR 代表者は空港当局との連携を計り、また他国の空港を検査する人材としての役割を果たします。

資格認可の予定

ALR代表者が適切に訓練され資格を与えられるよう、IFALPAはALR資格認可制度を導入します。AA委員会のAccredited Accident Investigator計画と似た方法で、AGE委員会議長がこの認可を行います。